

うからの里の歴史と共に

うから 日和



2022. VOL.2

令和4年3月13日発行

うからの里が設立されて43年。

変わらない歴史と沢山の思い出と共に、歩んできました。

時代は変わっても、決して色褪せることのない思い出の数々。



P 8

みやざき
安心セーフティネット事業

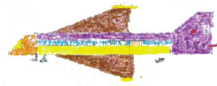
P 7

うからや
リニールオープン



P 6

金丸泰さんってどんな人?



P 4



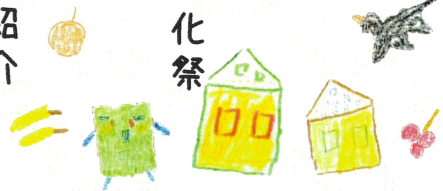
施設の看護師さん

P 5

高鍋事業所 活動紹介

P 3

うからの里
アーティスト紹介



P 2

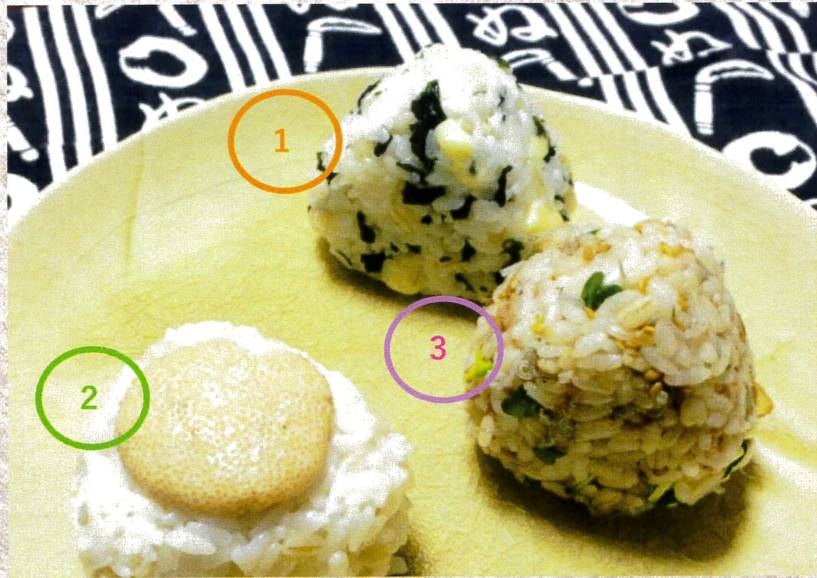
第20回
全国障害者芸術・文化祭

P 1

もくじ and
おすすめレシピ

栄養士KYOちゃんも認めたおにぎりレシピ

～この春はおにぎり持ってどこ行こう?～



【 ①わかめ&チーズ 】

材料2人分

- ①・あたたかいごはん…お茶碗2杯分
・わかめふりかけ…大さじ3
⇒材料をふんわり混ぜ合わせる
- ② ベビーチーズ…4個
1cm弱の角切り
- ③ ①にチーズを加え、軽く混ぜ合わせる
- ④好きな大きさににぎりにぎ 完成!

【 ②めんたいマヨ&柚胡椒 】

材料2人分

- ①あたたかいごはん…お茶碗約2杯分
- ②・からし明太子…2腹
・マヨネーズ…大さじ3
・柚こしょう…小さじ1
⇒全て混ぜ合わせておく
- ③ラップに広げたごはんの真ん中に混ぜ合わせた②を大さじ1を置き、上からごはんをかぶせ、やさしくにぎりにぎ 完成!

【 ③ あけみスペシャル 】

材料2人分

- ①あたたかいごはん…お茶碗2杯分
- ②・梅干し…中2個(梅酢もちょっぴり)
・ちりめんじゃこ…30g
・しそ…2枚(千切り)
・かつおぶし…1パック
・しょうゆ…大さじ2
・ゴマ…適量 (↑好きな量に調節)
- ③ボウルに取ったご飯に②を全て入れ、混ぜ合わせる
- ④好きな大きさににぎりにぎ 完成!

第20回 全国障害者芸術・文化祭



世界にひとつだけのアート



西都市総合文化フェスティバル 障害者アート展

2021.10.7～3日間

西都市民会館で開催された「障害者アート展」に、はにろ班、ななくさ班を中心とした、ご利用者の作品が展示されました。

ご利用者個人で作られた作品から、共同制作で個性が合わさった作品など数多くが展示され、独特な雰囲気を感じられる空間になっていました。



自分の作品が展示されているのを見て、皆さんとても喜ばれていました。

はにわ班は、18名の仲間がいます！
日々の作業の中や余暇時間の中で
色々な作品を作っています。

■ ARTIST ■



SADATOSHI

1

大西定利さん

出身地:新富町
絵画だけでなく、色々な
事を楽しむマルチなクリ
エーターです！

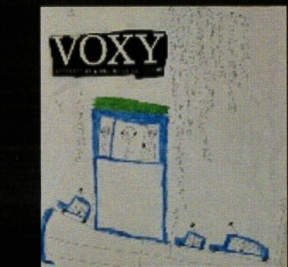


YOSHIAKI

2

久保田善明さん

出身地:宮崎市
文字・絵を描くことが好
きです！



MAKOTO

3

川越 誠さん

出身地:宮崎市
何事も自由にやりたいで
す！



TADAIHIRO

4

澤田忠博さん

出身地:宮崎市
これからも色々体験して
頑張ります！

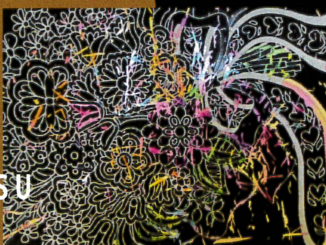


KEIICHIROU

5

野田圭一郎さん

出身地:宮崎市
陶芸作品作りも好きで
すが、塗り絵なども好きで
す！

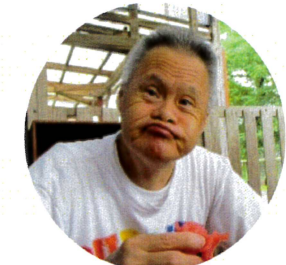


MUNEMITSU

6

横山宗充さん

出身地:宮崎市
塗り絵を楽しんで、面白
いクリエイター?になれ
るように頑張ります！



施設の看護師さん



～障害者支援施設で働く 看護師の役割について～

施設で働く看護師は、障害を持った人が自立した社会生活を行うことを目的として、生活支援や機能訓練を受けることができるようご利用者の健康管理を中心として行っています。

～病院で働く看護師さんとの違い～

『病気を治して退院する』病院と違い、施設は『生活の場』であり『何気ない日常を守る』事が一番大事です。言葉で気持ちを表すことが苦手なご利用者がどんな生活を送りたいか、その特性やコミュニケーションの方法を理解し、どのように支えていくかが一番の違いといえます。



施設で働く看護師が感じること

～Message～

障害を理解し、適切な支援を行うことはとても難しいことです。ですが、その一方でご利用者と関わり、話をしたり様々な活動を通していろいろな体験を共有でき、ご利用者ストレンクス（強味）を発見できた時などに喜びを感じることができます。



医療的ニーズがある際には病院と関わりを持ち、緊急時には処置や判断を委ねられるなど、日々責任ある立場にあります。支援課のスタッフは支援のプロですが医療職ではありません。経験の浅い支援スタッフへは医療的なアドバイスも必要です。支援員ほか、施設で働く様々な職種の人との連携を大切にしつつ、互いに協力し合い、丁寧に仕事を進めていくことが必要だと思っています。



看護師の一日

- ・申し送り
- ・服薬のチェック
- ・薬板配布
- ・各棟巡回
- ・通院
- ・モニタリング等各種会議参加
- ・健康管理委員会活動



その他△△△

- ・かかりつけ病院との情報の伝達と共有
- ・入院時訪問支援
- ・利用者様の個々の状態を観察し、必要な処置や家族への伝達
- ・感染予防対策



うからの里高鍋事業所

生活介護

生活介護では、手芸で様々な作品を製作中です。弁当袋、ハンカチ、シューズ入れ等を作り、販売を行っています。

コロナの影響で販売が困難ですが、現在は「うからの里 高鍋事業所 玄関」でのみ販売を行っています。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

今後は販売場所を拡大したいと思っています。



▲シューズ入れ



▼レジンアクセサリー



就労継続支援B型



就労支援B型ではトイレ委託清掃、千切り大根ほぐしと検品、西都原考古博物館にてラウンジ委託業務、パッキング外し等の様々な作業を行っています。

今後は、事業拡大を計画しB型では、地域の企業様、個人様などからの各種作業のご依頼を募集しております。お気軽に「高鍋事業所B型」までご相談ください。

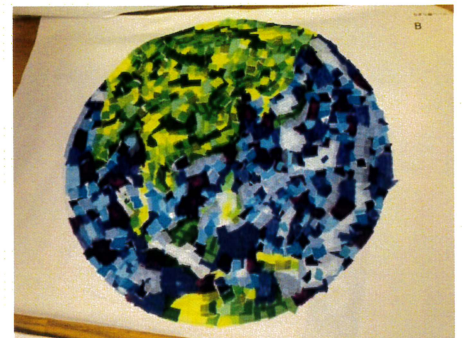
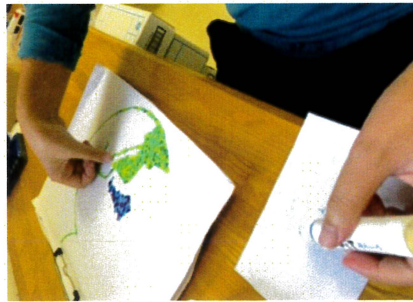
(高鍋町総合スポーツセンターより車で1分)
お問い合わせ先: 0983-21-1511



2021年7月2日、宮崎県立美術館
『不死鳥のお披露目会』が一階エントランスで行われました。



高鍋事業所のイケメンクールボーイこと「金丸豪さん」についてご紹介します。豪さんは、生活介護B班 はっぴー班にて日々活動されています。マイペースに過ごされている豪さんですが、とても素晴らしい能力の持ち主なのです。



お母様と一緒に
アート展を見学



不死鳥の「目」を豪さんが制作されました。



←どちらとも色塗りが、とても綺麗です。

←こちらの不死鳥は、「アートで被災地の応援」を目的に、どんな困難にあっても何度でも蘇る伝説の鳥「不死鳥(フェニックス)」のデザインを全国の障がいのある方とない方で合作し、被災地に届けるプロジェクトとして参加されました。宮崎では、アミュプラザみやざき屋上テラスに展示されました。

この度、
フリースペースうからやがリニューアル
しました。地域の交流スペースとして、
サークル活動等でご利用下さい。



2.1
完成

フリースペースうからや リニューアルOPEN

西都市妻町2丁目53
宮交バスセンターより車で2分
平日10:00~16:00 ☎0983-42-1212
(時間外については応談)



事務所(2階)



地域の方々の交流スペース



就労継続支援B型
たぬき班活動スペース



身障者トイレ &
シャワールーム

生活困窮者等に対する相談支援事業

「みやざき安心セーフティネット事業」をご存知ですか？



相談窓口

コミュニティソーシャルワーカー
ひぐち まさかず
樋口 雅一

『社会福祉法人 晴陽会』は、宮崎県社会福祉協議会が実施する「みやざき安心セーフティネット事業」の登録法人です。この事業では、関係機関と連携・協働して生活相談や経済的援助（現物給付）を行っています。生活の中での困りごとや不明な点がありましたらお気軽にご相談下さい。

電話0983-42-1212

相談は
無料です

秘密は厳守
されます

食料や
日用品の
現物支給

電気・ガス等
ライフライン
の支援

医療費がなく
病院に行けない
際などの支援
など。。。

これまでに、西都市及び高鍋町の生活困窮者13件の支援をさせていただきました。既存の制度では対応しきれない制度の狭間の問題への対応とともに、利用可能な制度の紹介や支援機関への橋渡しを行い、ひっ迫した状況にある場合には経済的援助（現物支給）をすることで生活困窮者の自立を支援します。

また、働くことに課題を抱えている相談者の希望や状況に合わせた就労訓練・社会参加のきっかけを作る就労支援事業も行っています。

私たちは、社会福祉協議会・福祉事務所からの依頼を受け、支援を行っています。この事業をより多くの方に周知できるよう、関係機関と連携して活動してまいります。

相談窓口：地域福祉部 フリースペースうからや

〒881-0034 西都市妻町2丁目53番地

電話0983-42-1212 FAX0983-32-5800

